

とくべつけんがくかい 特別見学会 「水戸空襲と弘道館」

弘道館は、昭和20年(1945)8月2日の水戸空襲でたくさんの建物が焼けてしまい、大きな被害がありました。そのようななか、正庁という建物は市民の方々が懸命のバケツリレーで消火をして守られました。

見学会では、水戸空襲のお話を聞いたり、弘道館にのこる空襲の傷跡を見ながら、平和の大切さを考えましょう。いつもは見られない孔子廟と八卦堂内の弘道館記碑も見ることができますので、ぜひ参加してくださいね！



🌿 日 時 令和8年8月8日(土)

①午前の見学会 10:00~11:30

②午後の見学会 13:30~15:00

🌿 参加方法 当日、①は10:00、②は13:30までに弘道館内の正庁玄関前に集合

*小学生・中学生から大人の方までご参加いただけます。
(参加費は無料ですが、入館料が必要です)

🌿 講師 弘道館研究員(小坪のり子・瀬戸祐介)

*水戸空襲と弘道館についてわかりやすく説明します。
弘道館の歴史などの質問にもお答えします。
見学ポイントはチラシの裏を見てくださいね！

弘道館 電話 029-231-4725

〒310-0011 水戸市三の丸1-6-29

■開館時間 9:00~17:00

■観覧料 大人420円 小中学生210円

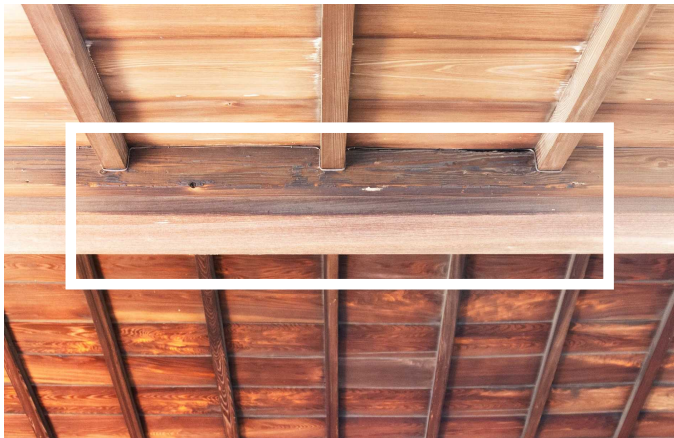
■アクセス JR水戸駅北口から徒歩約8分

常磐自動車道水戸ICから約30分

※弘道館駐車場(13台)が満車の場合は茨城県三の丸庁舎駐車場をご利用ください。その際は必ず駐車券を弘道館料金所窓口にご提示ください。



《おもな見学ポイント》

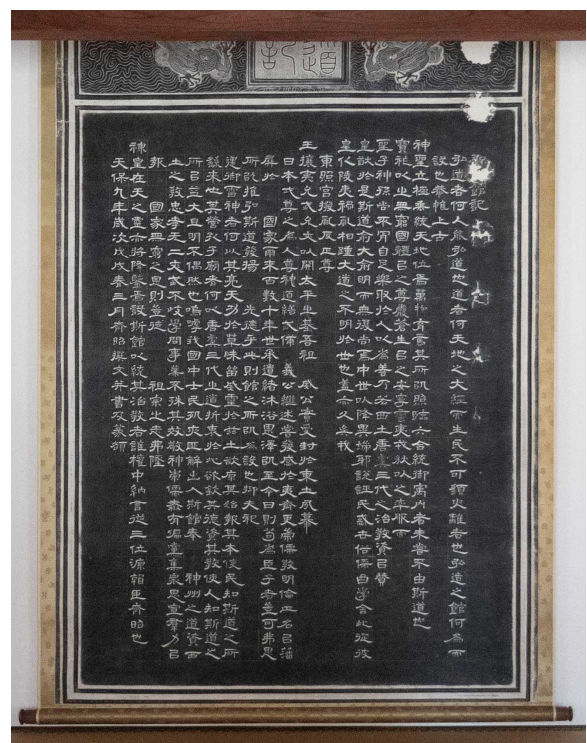


① 正 庁 玄 関 の こ げ 跡

正 庁 玄 関 の ひ さ し の 部 分 を 下 か ら 見 あ げ る と、黒くこげた跡があります。これは水戸空襲の時に市民の方々がバケツリレーで消火してくれた跡です。どのような消火活動だったかをお伝えします。

② 戦後の危機から守られた 弘道館記拓本

見学会の日に特別に見ることができる大きな弘道館記拓本です。拓本の右上のほうにいくつか穴があるのは、とても大切な理由があります。拓本の紙をつくった江戸時代の製紙所の看板も一緒に展示します。



③ 八卦堂のなかにある弘道館記碑

八卦堂は水戸空襲で全焼しましたが、弘道館記碑は焼夷弾の衝撃で傷をうけながらも焼野原に立っていたそうです。横から見ると、うしろの上のほうが崩れてしまっていて、補修されているのがわかります。